

科目名	情報処理 C	学年	2
サブタイトル	マルチメディア情報を含むWebページの加工と発信	単位	1
教員名	太田 信宏	研究室	1314
連絡方法	ohtan@bunkyo.ac.jp		
授業概要	現代社会ではWebページ、ブログ、SNSなど、インターネットを活用したさまざまな情報発信が可能となっている。この授業の目的は、マルチメディア情報を含むデータの加工と発信である。授業ではHTMLによるWebページ作成やマルチメディア情報の受信・発信方法を学習する。またデジタルカメラ・スマートフォンを活用した画像データの編集・加工、さらにJavaScriptなどによる動的コンテンツの作成なども行う。授業はPCによる演習形式で行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HTMLタグとスタイルシートを用いてWebページを作成できる</li> <li>・ JavaScriptを利用した動的コンテンツを作成できる</li> <li>・ 画像データを加工・編集してマルチメディア情報を発信できる</li> </ul>		
授業計画 (1回)	1.授業オリエンテーション、HTMLとタグの基礎知識		
授業計画 (2回)	2.文字修飾とページレイアウト		
授業計画 (3回)	3.テーブルを利用したWebページ		
授業計画 (4回)	4.ハイパーリンクとリスト表現		
授業計画 (5回)	5.おすすめリンクのWebページ作成		
授業計画 (6回)	6.スタイルシートとページのデザイン		
授業計画 (7回)	7.画像の編集と加工 1 (トリミングと色表現)		
授業計画 (8回)	8.画像の編集と加工 2 (サムネイル画像とWebページ)		
授業計画 (9回)	9.画像の編集と加工 3 (動画データの活用法)		
授業計画 (10回)	10.JavaScriptの基礎知識		
授業計画 (11回)	11.動的なウェブコンテンツ作成		
授業計画 (12回)	12.フォームの利用		
授業計画 (13回)	13.タイマー設定と簡易ゲーム		
授業計画 (14回)	14.ウェブアルバムとスライドショーの作成演習		
授業計画 (15回)	15.作品紹介・授業のまとめ・授業アンケート		
授業外での学修 (予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で取り上げるHTMLタグ・スタイルシートについて事前に調べておくこと</li> <li>・ オリジナルの素材データ (写真・動画等) をスマートフォン、デジタルカメラなどに用意すること</li> <li>・ コンテンツ作成後に他学生の作品を鑑賞し、比較・検証すること</li> </ul>		
授業外学修時間	各授業回の事前事後で1時間以上の授業外学修を目安とする。		
評価方法	評価の割合は、定期試験40%、授業中の課題25%、作成したコンテンツ25%、平常点10%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験では、HTMLの作成を通して、ウェブページのデザインと表現方法をみる試験を行う。授業中の課題および作成するコンテンツについては、提出点+内容点の合計を点数化する。内容点とは成果物の完成度・内容・分量・センスの総合点である。すべての評価項目を100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。		
フィードバック	提出した課題については、翌週の授業で解説を行い、必要に応じ補足説明をmanabaまたは授業ウェブページに掲載する。		
授業で使用するテキスト	資料を配付する。		
参考書	使用しない。		
受講生へのメッセージ	インターネット上には、文字、図形、画像、音声、動画などのマルチメディア情報が流れています。これらのデータを有効に活用する方法を身につけると同時に、自分のWebページを通して情報発信する方法を学んで下さい。また遅刻・欠席をしないよう注意して下さい。授業に対する姿勢・態度も評価のポイントになります。遅刻 (15分まで) /早退は3回で欠席1回分とみなします。		
実務経験のある教員に関する情報			